

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 ちびっこBA-NA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	常に整理整頓を行い、活動スペースを広くしている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	配置基準と加算人員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	バリアフリー環境にしている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	カンファレンスを行い、計画表の確認や振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価表は利用者に配布し、意見を参考に支援を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	事業所のホームページに記載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価は行ってないので、改善するように努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に法人全体で研修を行い、スキルアップに努めている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	見学時と契約時に利用者と保護者から聞き取りを行い、計画書作成に役立てている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	ガイドラインのアセスメントツールを参考にしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士を中心にプログラムを立てている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	週間プログラムをたてて、固定化しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	休日と長期休暇はレクリエーションを充実できるようにプログラムを立てている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別活動は生活訓練や訓練士による訓練で、集団活動は保育士によるレクリエーションを中心に行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝のミーティングでその日の支援の役割分担を行う。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	帰りのミーティングでその日の支援の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	業務日報や提供記録にその日の活動や支援内容を記載している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6カ月に1回、モニタリングを実施し、振り返りや見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	活動を組み合わせて、日々の支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者や看護師が出席している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	行事により、お迎えの時間が異なってくるので、送迎時に担任の先生に確認を取っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		主治医に直接、連携は取っていないが、訪問看護ステーションとは連携を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		児童発達支援事業所とは情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	同法人内の生活介護事業所に利用者を推薦したり、別の生活介護事業所には担当者会議等に参加し、情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		今後は連携を検討していく必要がある
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後は連携を検討していく必要がある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		今後は連携を検討していく必要がある
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や面談の際に、日々の状況を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		今後は検討する必要がある。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に詳しく説明を行っている	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者からの相談があれば、迅速に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		検討する必要があると思うが保護者からの要望がないため、開催はしていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情については迅速に対応し、スタッフ全員に周知している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		行事の際にはその都度、利用者に配布を行っている。会報は行っていないので、検討課題ではある。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	スタッフ全員、個人情報の流出については細心の注意を払うことを共通認識にしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	できるだけ、わかりやすく、詳しく、情報を伝えるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍が落ち着けば、検討をする必要があると感じている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各種マニュアルは策定し、スタッフや利用者には伝えている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難訓練は定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	アンケートや研修機会を設けるようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	計画書に記載し、利用者には説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのある児童については医師から指示書に基づき、支援を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成していて、スタッフ全員で共有している。	